



飛翔猛禽類クイズ！

津軽白神森林生態系保全センター 専門官 有本 実

ある野鳥研究者から、人工林内の作業路がクマタカの良い狩場になっている、と教えていただきました。スギ林を皆伐してイヌワシの狩場を創出した“赤谷プロジェクト”の様に、適切な人工林施業は猛禽類の保全にもつながります。よし、この小班はクマタカのために帯状皆伐しよう！などと意気込むにあたり、何はともあれ現場の上空を飛翔する猛禽類を同定できないことには話が始まりません。

野鳥の図鑑には『トビより一回り大きい』とか『白い眉斑が目立つ』などと鮮明な画像とともに解説されていますが、1羽だけで逆光の空を飛ばれて一瞬で山陰に隠れてしまっただけでは、大きさも色もよく分かりません。現場では瞬時に識別する必要があり、そこで特に観察すべきポイントは、シルエットと羽ばたき方です。今回は以下の8種類のシルエットを、クイズ形式でご紹介します。どの種が何番か、ヒントを手が

かりに挑戦してみてください。

【イヌワシ】開けた草地での狩りに適した、グライダーの様な長い翼 【クマタカ】林内で小回りを利かせるのに適した、やっこ凧の様な幅広の翼 【トビ】三味線のバチの様な三角形の尾羽 【ノスリ】ずんぐりむっくりした体型で、扇型の尾羽 【ハイタカ】スマートな体型で、角張った長い尾羽 【ハチクマ】やや幅広の翼で、小さく飛び出た頭 【ハヤブサ】がっしりした体型で、先がとがった翼 【ミサゴ】カモメをスマートにして翼を長くしたような体型

尾羽が三角形のタカはトビだけなので、まずは街中で飛んでいるトビのシルエットを目に焼き付けてから、山中で「トビとは〇〇が違う」と見極めていくと覚えやすいでしょう。何より姿形が格好良いタカ達、識別できるようになって山の楽しみを一つ増やしてみたいはいかがでしょうか？



Q①



Q②



Q③



Q④



Q⑤



Q⑥



Q⑦



Q⑧